

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校吹奏楽ワークショップ事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	鶴巻 浩二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	演劇活動をしている高校生、吹奏楽を学んでいる中学生	意図	文化会館を活用した体験学習の場の提供
事業内容	高校生を対象に舞台ワークショップを、中学生を対象に吹奏楽ワークショップを文化会館ホールで実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	高校演劇の発表会が文化会館で定期開催されている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	高校演劇20分シアター参加者数	850	650	820	人		
②	舞台ワークショップ参加者数	643	279	279	人			
③	中学生のための吹奏楽ワーク参加人数	286	293		人			
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 中学校ワークショップ事業についてはH30年度 未開催 「高校演劇20分シアター」及び「舞台ワークショップ事業」については「高校・大学等の連携による学習充実事業」に編成し実施している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		923,000	909,200	898,300				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		923,000	909,200	898,300				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	舞台ワークの多様な機会を提供していく。また、流山高校演劇フェスティバルについては、引き続き対象地域を拡大し実施出来るよう努める。	③取組における課題(Check)	高校演劇では、学校によっては部員が少なくなっている。
②H30に実施した取組(Do)	演劇フェスティバルは、学生が一堂に会することを優先し、参加校の拡大は行わなかった。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	中学生に対する演劇イベントのPRを図っていく。